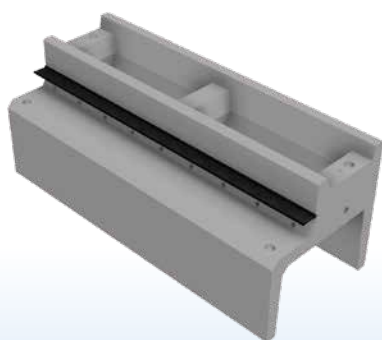


製品概要

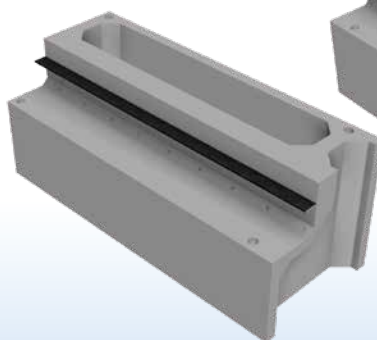
クレーバベース250A I 型／ クレーバベース250TA型

クレーバベース(波返用)は港湾・海岸・河口の護岸基礎工として開発した製品です。製品には、止水板が取り付けられています。

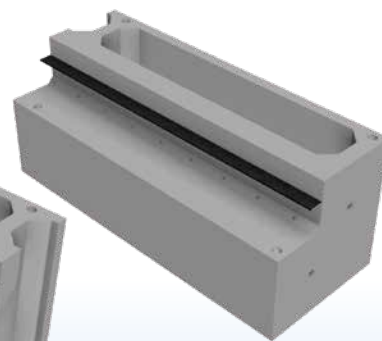
クレーバベース250TA型



クレーバベース250A I 型(L)



クレーバベース250A I 型(R)



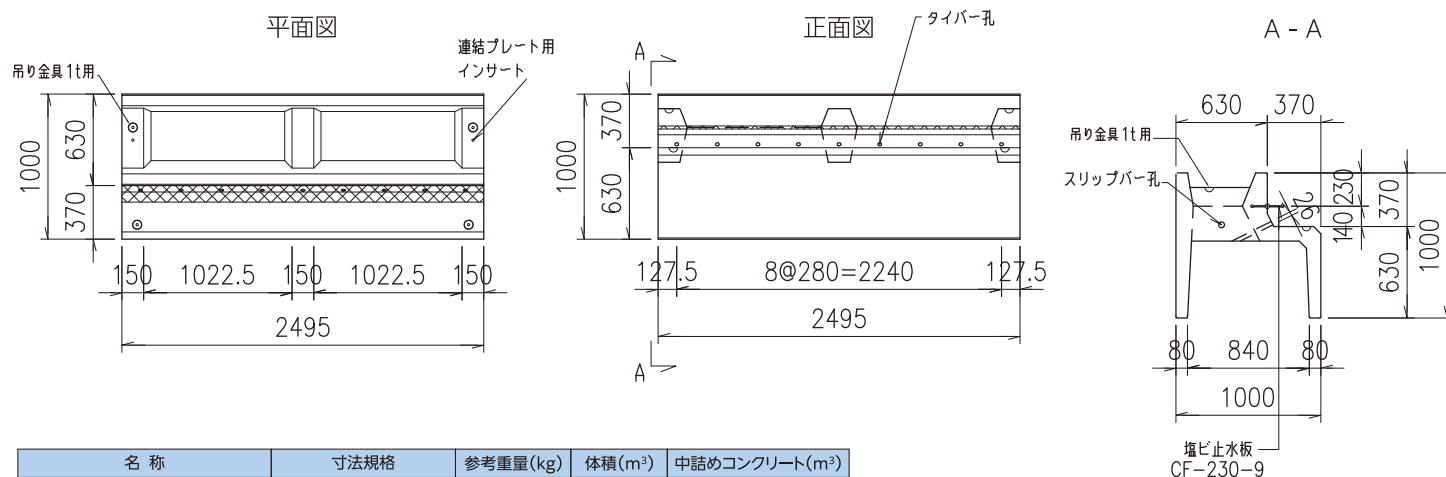
特長

- ◆ 製品には、止水板が取り付けられていますので、護岸と一体化が図れ、波力による吸出しを防止します。
- ◆ 基礎工のずれ止め防止のために連結コンクリートと連結ボルトで固定します。
- ◆ 製品はLタイプとRタイプの接合で、5m単位での施工が可能となります。
- ◆ 現場打ち工法に比べ作業工程が省略できるため水替え作業が軽減できます。



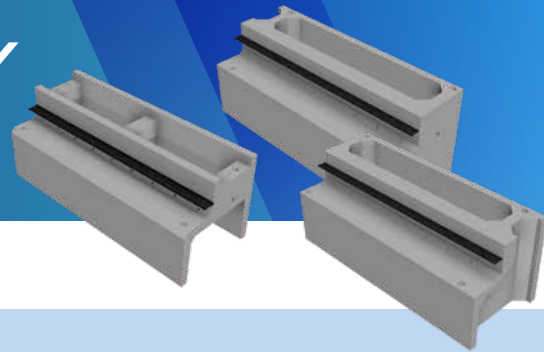
製品図面

クレーバベース250TA型



連結プレートは製品に含む

クレーバース250A I 型 / クレーバース250TA型



1 製品の吊り上げ

- ◆ ワイヤー4本とシャックル4個を用意してください。
- ◆ 安全の為、吊り荷の下には絶対に入らないでください。
- ◆ 弊社から貸し出した吊り金具(カプラー※)を、製品天端の4か所の吊りフックに確実に掛け、製品を吊ってください。
- ◆ 吊り金具の取り扱いには注意してください。
- ◆ 掛かりが緩いと製品が脱落するおそれがあります。



吊り金具



吊り金具(カプラー)参考写真

※吊り金具は工事終了時にご返却願います。

2 製品の据え付け

- ◆ 丁張りを行い、製品の施工位置ラインを確認しつつ、安全に据え付けを行ってください。
- ◆ 据付時は製品で手足を挟まないよう十分注意してください。

3 製品の目地

- ◆ 製品延長5mごとに目地材の貼り付けとスリップバーの施工を行います。
- ◆ 隅角部は間詰コンクリートで処理します。

4 製品の連結

- ◆ 目地を貼らない箇所は、製品同士の連結を行います。
- ◆ 製品間を弊社支給の連結ボルトまたは連結プレートを使用して連結を行ってください。(製品により連結方法が異なります)
- ◆ 目地材貼り付けと製品連結を交互に行います。

クレーバース250A I 型／クレーバース250TA型

5 製品内部の打設

- ◆ 据付後、製品内部に中詰めコンクリートを打設します。
- ◆ 現場によっては、コンクリート殻を投入します。
- ◆ 最後に製品打設面を丁寧に均します。



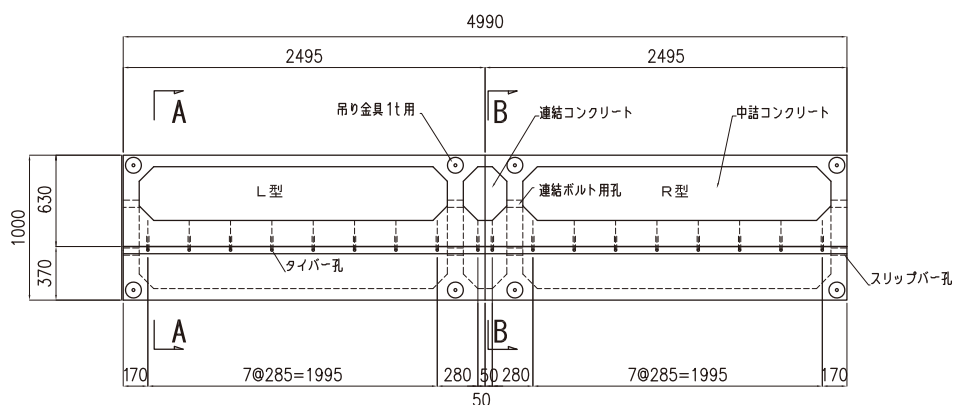
6 タイバーの設置

- ◆ コンクリート打設後、製品内部にタイバーを挿入します。

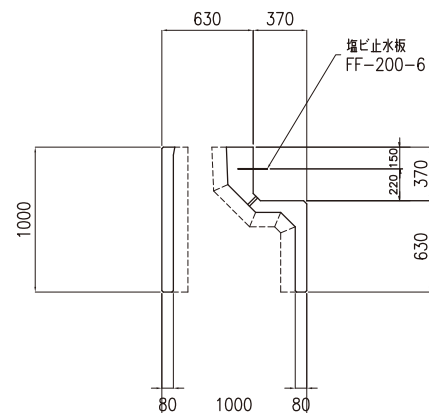
クレーバース250A I 型／クレーバース250TA型

クレーバース250A I 型

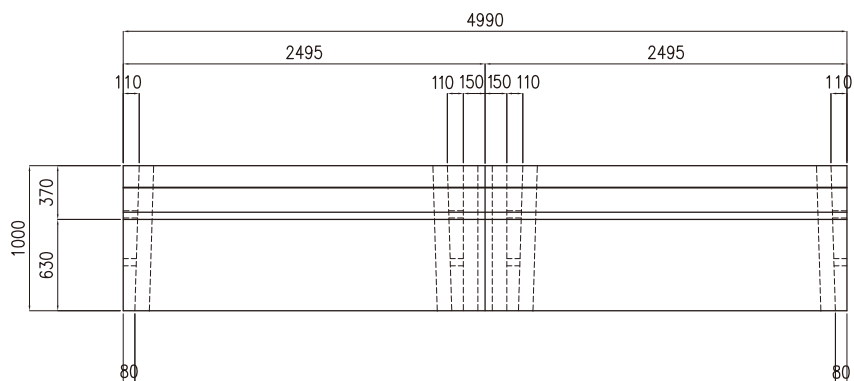
平面図



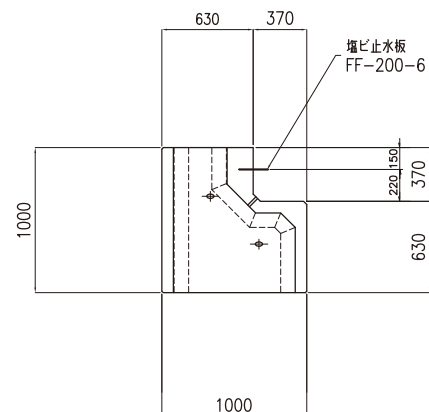
A - A



正面図



B - B



名 称		寸法規格	参考重量(kg)	体積(m³)	中詰めコンクリート(m³)	連結コンクリート(m³)
クレーバース250A I型	R	1000×1000×2495	1610	0.703	1.365	0.089
	L	1000×1000×2495	1610	0.703	1.365	0.089

連結ボルトは製品に含む